



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「日本半導体産業の復活はなるか！」

担当理事 任田典平

日本の産業は 1990 年代初頭以降、失われた 30 年と言われるようになり、今年 4/9 日経新聞の「大機小機」欄に「日本はいつのまに後進国になったか」と題して、ワクチン後進国、デジタル後進国、更に環境後進国等を挙げていた。

一方、産業のコメと言われていた半導体は 1990 年に日本メーカーのグローバルマーケットシェアは 49%であったが、それを消費する CTV はじめ家電、PC 等の競争力低下と共に 2020 年には 6%にまで低下して、凋落の一途を辿っている。

しかし最近米中ハイテク摩擦、経済安全保障及び世界的な供給不足等が与える問題に注目が集まり、官民一体となって開発・生産体制を見直そうという大きな動きが出ている。日本は製造装置、材料分野で競争力を保持していると言われている。更に最近 CASE(Connected, Autonomous, Shared Service, Electric)対応の車載ユニット、次世代ロボット、AI・IoT 等の先端分野での半導体需要が高まってきている。AI・IoT 関連ではものづくり、サービス及び農業をはじめ多くの分野で用途が拡大し、SEF はものづくりの分野での導入に取り組んでおり、開発される機器に期待している。これらの半導体を消費する製品の開発、製品に要求される機能・性能を満たす半導体開発及び目指す半導体を製造する装置・材料の開発が三位一体となって進展し、再び日本の半導体及び関連する産業が活性化し、グローバルレベルでの技術先進国に復活することを願っている。

10 月度理事会より (第 217 回 10 月 27 日)

事務局

1. 第 20 期(2021 年度)上期中間決算 →可決承認	5. 「NPO 保険 団体総合補償制度」の更新 →報告了承
2. 中間監査の開催 →開催不要を決定	6. 業務マニュアル改訂 MN-006 会員管理マニュアル
3. 「事務局業務委託費支給規定」の改訂版 →メールにて継続審議	7. 2021 年 9 月度月次会計報告 →報告了承
4. 業務支援事業部第 20 期 2Q の活動報告 →報告了承	8. Zoom の契約更新 →報告了承

事業報告 (コミュニケーション研究会)

担当理事 長本啓社

コミュニケーション研究会(通称コミ研定例会)は年度ごとにテーマを決めて論議、研究する他、研究会のもう一つの目的である会員活動による知見の向上を図っております。

会員の構成は 10 月末日現在、佐立、玉木、任田、黒澤、長本の 5 名が所属しており、通常は月一回のペースで定例会を開催します。又、年に 1 回程度 2 泊 3 日の合宿を実施する事もありますが、最近はコロナ禍の影響で全て中止しております。昨期テーマ「日本人のこころ」は当初計画した一つの論文に纏めることはしないで、各員が発表したものをそれぞれそのまま生かした物、自由度を高めてそれぞれが個人の思い入れを書く事としました。第 8 次テーマの成果物は小冊子にして会員に配布した他、HP に掲載しました。

第 9 次テーマは「憲法」として現在各位が研究活動を行っております。本来ならば月 1 回は定例会を開催すべき事なのですが、コロナ禍の為に対面での活動は休止しており、再開は諸般の事情より 2022 年初頭からになるのではないかと予測しております。

SEF サロン (第 119 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 119 回案内 》

日時：2021 年 11 月 24 日(水)、15 時～16 時 30 分 Zoom 方式 講師：入鹿山剛堂準会員
 題目：「post-コロナ時代におけるエッジ AI とその応用」
 講演概要：新型コロナの流行・蔓延により私達の生活は大きく変わりました。非接触、リモートがあたりまえの時代となり、それに伴って WEB 会議など様々な技術が大きく進展・普及しました。AI の進歩もその一つで、特に「エッジ AI」と呼ばれる技術が注目を浴びています。そこでエッジ AI 技術の現状とその様々な応用についてご紹介します。

10 月度会員動向

事務局

会員の入退会 なし	10 月末日現在の会員数 正会員 : 22 名、 準会員 : 40 名 賛助会員 : 5 社+1 団体
--------------	---